受益者の皆さまへ

情報提供資料
2026年11月9日

弊社ファンドの11月9日の基準価額の下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2026年11月9日、弊社ファンドの一部において、基準価額が前営業日比5%以上下落しました。
該当ファンドおよび基準価額の下落要因について以下の通りご報告させていただきます。

1. 基準価額が前営業日比で5%以上下落した公募投資信託

ファンド名	基準価額	前営業日比	騰落率
FWりそな国内株式アクティブファンド	29,301円	-1,759円	-5.66%

※ 前営業日比はファンドの収益分配金（課税前）のお支払いを含めた表示となっておりますが、騰落率については収益分配金（課税前）を再投資したものとして計算した数値を用いて算出しています。

2. 基準価額の下落要因

11月5日の米国株式市場では、ナスダック総合指数が前日比-5.5%と、2025年4月以来の下落率となりました。また、2026年10月6日に記録した最高値からの下落率は-11.9%に達し、「調整局面入り」の目安とされる-10%を超えました。
主要な半導体関連銘柄で構成されるフィラデルフィア半導体指数（SOX）は前日比-12.3%となり、半導体関連銘柄が軒並み下落しました。また、NYダウは同-3.4%、S&P500指数は同-4.4%となり、市場全体でリスク回避的な動きが強まりました。
今回の下落の背景には、米国中間選挙で野党・民主党が上下両院の過半数を奪還したことに加え、同時に実施された州知事選挙においても、AI（人工知能）向けデータセンター建設が活発なテキサス州、オハイオ州など、従来は共和党の強固な支持基盤とみられていた州で、データセンター建設の抑制を掲げる民主党候補が勝利したことが挙げられます。
電気料金の上昇などによる生活コスト負担の増加を背景に、米国民の間でデータセンター建設に対する反発が強まっていることが改めて意識されました。これを受けて市場では、データセンター建設に対する規制強化や建設ペースの鈍化が意識され、これまでAI関連設備投資の拡大による恩恵を受けてきた半導体関連企業を中心に、将来的な収益成長が鈍化するとの見方が強まりました。
11月6日の東京株式市場でもその流れを引き継ぎ、日経平均株価は前日比-6.0%、TOPIX（東証株価指数）は同-5.9%となり、市場全体でリスク回避的な動きが強まりました。

※ 上記1. 基準価額が前営業日比で5%以上下落した公募投資信託は11月6日の市況が反映されているため、同日のコメントを掲載しています。

3. 世界の主要市場の動き

参考指数・参考レート	直近終値	基準日	前日終値	基準日	前日比	騰落率
日経平均株価	57,434.77	11月6日	61,077.90	11月5日	-3,643.13	-5.96%
TOPIX(東証株価指数)	3,707.99	11月6日	3,940.39	11月5日	-232.4	-5.90%
ダウ工業株30種平均	51,523.06	11月5日	53,356.12	11月4日	-1833.06	-3.44%
S&P500種指数	7,353.73	11月5日	7,688.62	11月4日	-334.89	-4.36%
米ドル(対円)	157.77	11月6日	158.21	11月5日	-0.44	-0.28%
ユーロ(対円)	177.03	11月6日	177.92	11月5日	-0.89	-0.50%

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

＜当資料についての留意事項＞

- 当資料は、情報提供を目的として、りそなアセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当資料は、投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績および市場環境の分析等の記載内容は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果および市場環境等を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

商号等:りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第2858号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会